

③ 国内旅行実務

第1問 以下の問1.～問20.の各設問について該当するものを、それぞれの選択肢から選びなさい。
(地名表記については、原則として「コンサイス日本地名事典第4版」による。)

(配点 2点×20)

問1. 札幌ドームの近くにあり、広大な石狩平野をバックに観光施設として造られた は、敷地内にクラーク博士のブロンズ像が立ち、市民の憩いの場として親しまれている。

- a. 大通公園 b. 五稜郭 c. 羊ヶ丘展望台 d. 藻岩山

問2. 大雪山国立公園内にあり、大函・小函の景勝地が連なる紅葉の名所 では、柱状節理の断崖絶壁を流れ落ちる銀河の滝や流星の滝を見ることができる。

- a. 層雲峡 b. 天人峡 c. 最上峡 d. 竜王峡

問3. 青森市の郊外にあり、日本最大級の縄文集落遺跡である からは竪穴住居跡や縄文土器が多く出土し、大型掘立柱建物が再現されている。

- a. 亀ヶ岡遺跡 b. 三内丸山遺跡 c. 登呂遺跡 d. 吉野ヶ里遺跡

問4. 平泉にある天台宗の寺院 は、金色堂をはじめ数多くの国宝や重要文化財を所蔵し、奥州藤原氏三代の栄華を伝える寺として名高い。

- a. 瑞巖寺 b. 中尊寺 c. 毛越寺 d. 立石寺

問5. 戦場ヶ原の南方にあり、男体山の火口噴火物で堰き止められてできた の流出口からは日本三大名瀑の一つである華厳滝が流れ落ちる。

- a. 猪苗代湖 b. 河口湖 c. 中禅寺湖 d. 山中湖

問6. 平成19年3月にグランドオープンした は、ザ・リッツ・カールトン東京をはじめ個性あふれるショップや高級レストランが集まり、今話題の新名所となっている。

- a. アークヒルズ b. 新丸の内ビルディング
c. 東京ミッドタウン d. 六本木ヒルズ

問 7. 甲府盆地を中心とする地域で作られる郷土料理 は、野菜と平打ちの麺を味噌仕立てで煮込んだもので、その由来は中国から禅宗と共に渡来したと言われている。

- a. きしめん b. きりたんぽ c. けんちん汁 d. ほうとう

問 8. 福井市の東方にある、道元禅師によって開創された曹洞宗大本山 には、七堂伽藍をはじめとする 70 余棟の建物が静かに佇み、一般の拝観者も寺院の施設内で説法を聴くことができる。

- a. 永平寺 b. 延暦寺 c. 善光寺 d. 那谷寺

問 9. 20 年に一度の式年遷宮が平成 25 年に予定され、用材を奉曳する御木曳行事が平成 18 年と 19 年に行われた は、域内を五十鈴川が流れ、この川の流れを型どった赤福餅は土産品として有名である。

- a. 熱田神宮 b. 伊勢神宮 c. 橿原神宮 d. 平安神宮

問 10. 天武天皇が皇后の病氣平癒を祈願して造営が始められ、世界文化遺産に登録されている は、「龍宮造り」と言われる金堂をはさんで対をなす東西の塔が美しい。

- a. 唐招提寺 b. 東大寺 c. 法隆寺 d. 薬師寺

問 11. “山陰の小京都”と言われる は森鷗外の旧宅に代表される古い家屋と武家屋敷が遺され、この地で夏に奉納される鷺舞神事は国の重要無形文化財である。

- a. 津和野 b. 萩 c. 松江 d. 米子

問 12. 日本で本格的にオリーブ栽培が開始された は、瀬戸内海に浮かぶ島で、古くから醤油が製造され、小説「二十四の瞳」の舞台としても知られている。

- a. 淡路島 b. 厳島 c. 大三島 d. 小豆島

問 13. 大分方面からは、やまなみハイウェイを経由して到達できる は平成 18 年 10 月に完成した長さ 390m、高さ 173m の日本一の人道大吊橋で、橋から震動の滝を見ることができる。

- a. 綾の照葉大吊橋 b. 回顧の吊橋 c. 九重夢大吊橋 d. 竜神大吊橋

問 14. 次はある都道府県について述べたものであるが、一つだけ他の都道府県について述べたものがある。それはどれか。

- a. 400 年の歴史をもつ情熱的な阿波踊りは、旧盆に行なわれる。
- b. 吉野川の支流の溪谷には、祖谷のかずら橋が架かっている。
- c. 源平の古戦場として知られる屋島がある。
- d. 国の天然記念物の土柱を見ることができる。

問 15. 次の観光地と温泉と観光施設の組合せで、すべて同一都道府県内にあるものはどれか。

- a. 十三湖 — 定山溪 — 旭山動物園
- b. 二見浦 — 湯の山 — 志摩スペイン村
- c. 蒜山高原 — 湯原 — 足立美術館
- d. 満濃池 — 道後 — 金丸座

問 16. 次の世界遺産と温泉地の組合せで、同一都道府県内にないものはどれか。

- a. 日光の社寺 — 湯西川
- b. 姫路城 — 有馬
- c. 石見銀山遺跡 — 城崎
- d. 屋久島 — 指宿

問 17. 次の温泉地の組み合わせで、3 つのうちすべてが同一都道府県内にないものはどれか。

- a. 三朝 — 皆生 — 吉岡
- b. 湯涌 — 和倉 — 片山津
- c. 男鹿 — 玉川 — 湯瀬
- d. 嬉野 — 黒川 — 湯布院

問 18. 次の観光地で世界文化遺産に登録されていないものはどれか。

- a. 玉陵
- b. 宮良殿内
- c. 首里城跡
- d. 今帰仁城跡

問 19. 次の岬の中で一つだけ同一都道府県内にないものがある。それはどれか。

- a. 佐多岬
- b. 残波岬
- c. 辺戸岬
- d. 知念岬

問 20. 次の空港名と空港コードとの組合せで誤っているものはどれか。

- a. 新潟空港 — K I J
- b. 宮崎空港 — K M J
- c. 仙台空港 — S D J
- d. 広島空港 — H I J

第2問 国内航空2社（日本航空、全日空）に関する以下の問21.～問23.の各設問について該当するものを、それぞれの選択肢から一つ選びなさい。

（以下は平成19年6月1日現在有効な条件による。）

（配点 5点×3）

問21. 全日空の超割に関する次の記述のうち、正しいものはどれか。

- a. 便出発の前日までならいつでも予約変更ができる。
- b. 便出発の前日までなら5,000円の追加料金を支払うことにより、スーパーシートプレミアムへの予約変更ができる。
- c. 予約便出発までに取消があった場合に限り、航空券の購入日以降、予約便の出発日の翌日から起算して10日以内に限り払い戻しできる。
- d. 予約の変更はできない。また、搭乗日当日に出発空港にて予約便より前の便に空席がある場合でも変更できない。

問22. 次の航空券を2007年5月7日に取消し、払い戻した場合の返金額のうち、正しいものはどれか。

 本券を折り曲げないでください。 正確をお読みください。 (See the reverse side.)		5001	ご搭乗券 Boarding Pass 本券は着地までご携帯ください。 To be kept up to your destination.	
日本航空航空券 先得割引 その他運賃料金込 JAL PASSENGER TICKET SX-FARE OTHR FARE/CHRG INCLD		照会番号 Ref.No. ☆ 1001-0001		
ジャタジロウ様 (25 M)		ご搭乗手続は自動チェックイン機もご利用いただけます。		
名古屋／中部⇒ 札幌／千歳 NAGOYA CHUBU SAPPORO CHITOSE		¥23,500* (CASH) (PFC- 200)	SX	
		予約番号 Rev.No. 0011	搭乗口 Gate	
JAL 3101 便 Y 6月10日 08時35分発 OK				
他社搭乗、予約変更、及び空港での搭乗便変更はできません。 払戻の際は、所定の取消手数料が適用されます。 C RTG-WGO (JL SX/23500) SPK TTL23500 SX-4				
2007年04月27日 JATAトラベル 発行日 Date of Issue		AA		
13142 20875696		ご搭乗手続は15分前までに、ご搭乗口へは10分前までにお越しください。 日本航空		

- a. $23,500 \text{ 円} \times 0.5 = 11,750 \text{ 円}$
 $23,500 \text{ 円} - 11,750 \text{ 円} - 420 \text{ 円} = 11,330 \text{ 円}$
- b. $(23,500 \text{ 円} - 200 \text{ 円}) \times 0.5 = 11,650 \text{ 円}$
 $23,500 \text{ 円} - 11,650 \text{ 円} - 420 \text{ 円} = 11,430 \text{ 円}$
- c. $23,500 \text{ 円} \times 0.5 = 11,750 \text{ 円}$
 $23,500 \text{ 円} - 11,750 \text{ 円} = 11,750 \text{ 円}$
- d. $23,500 \text{ 円} - 420 \text{ 円} = 23,080 \text{ 円}$

11,330 円

11,430 円

11,750 円

23,080 円

問 23. 全日空の特割に関する次の記述のうち、正しいものはどれか。

- a. 特割 7 の取消手数料は、当該運賃の約 50%相当額である。
- b. 特割 1 の取消手数料は、路線区分で定めた手数料の半額である。
- c. 特割 1 は、搭乗日の 4 日前以前であれば予約の変更が可能である。
- d. 特割 7 には座席数に制限があるが、特割 1 には座席数に制限はない。

第 3 問 旅客鉄道会社(JR)に関する以下の問 24.～問 32.の各設問について該当するものを、それぞれの選択肢から選びなさい。(以下は平成 19 年 6 月 1 日現在有効な条件による。)

(配点 5 点×9)

問 24. 次の行程を 12 歳の小学生 1 人と 6 歳の幼稚園児 1 人が特急列車の普通車自由席で往復利用する場合の往復運賃の算出方法として、正しいものはどれか。

[行 程]

苫小牧—————登別
大人片道普通運賃 810 円

- a. $810 \text{ 円} \div 2 = 405 \text{ 円} \rightarrow$ は数整理 $\rightarrow 400 \text{ 円}$
 $400 \text{ 円} \times 2 = 800 \text{ 円}$
 $800 \text{ 円} \times 1 \text{ 人} = 800 \text{ 円}$

800 円

- b. $810 \text{ 円} \times 2 = 1,620 \text{ 円}$
 $1,620 \text{ 円} \div 2 = 810 \text{ 円}$
 $810 \text{ 円} \times 1 \text{ 人} = 810 \text{ 円}$

810 円

- c. $810 \text{ 円} \div 2 = 405 \text{ 円} \rightarrow$ は数整理 $\rightarrow 400 \text{ 円}$
 $400 \text{ 円} \times 2 = 800 \text{ 円}$
 $800 \text{ 円} \times 2 \text{ 人} = 1,600 \text{ 円}$

1,600 円

- d. $810 \text{ 円} \times 2 = 1,620 \text{ 円}$
 $1,620 \text{ 円} \div 2 = 810 \text{ 円}$
 $810 \text{ 円} \times 2 \text{ 人} = 1,620 \text{ 円}$

1,620 円

問 25. 次の行程を乗車する場合、札幌～稚内間の大人片道普通旅客運賃と当該片道乗車券の有効期間との組合せで、正しいものはどれか。

[行 程]

札幌 ————— 旭 川 ————— 稚 内
 函館本線（幹線） 宗谷本線（地方交通線）
 営業キロ 136.8km 営業キロ 259.4km
 (換算キロ 285.3km)

- ・ 営業キロ 136.8km + 営業キロ 259.4km = 営業キロ 396.2km
- ・ 営業キロ 136.8km + 換算キロ 285.3km = 運賃計算キロ 422.1km

※ JR 北海道内の幹線用普通運賃表

営業キロ（運賃計算キロ）	旅客運賃
121 ～ 140km	2,420 円
381 ～ 400km	6,610 円
421 ～ 440km	7,140 円

※ JR 北海道内の地方交通線用普通運賃表

営業キロ	旅客運賃
256 ～ 273km	5,250 円

	大人片道普通旅客運賃	片道乗車券の有効期間
a.	6,610 円	3 日間
b.	7,140 円	3 日間
c.	7,140 円	4 日間
d.	7,670 円	4 日間

問 26. 次の行程を大人 1 人と小児 1 人が 1 つの B 寝台を利用する場合の料金の算出方法として正しいものはどれか。

[行 程]

長 崎 ————— 寝台特急「あかつき号」 ————— 京 都

長崎 — 京都間の通常期指定席特急料金	3,660 円
B 寝台料金	6,300 円

a. 大人特急料金：3,660 円 - 510 円 = 3,150 円

小児特急料金：0 円

寝台料金：6,300 円

3,150 円 + 6,300 円 = 9,450 円

9,450 円

b. 大人特急料金：3,660 円 - 510 円 = 3,150 円

小児特急料金：(3,660 円 - 510 円) ÷ 2 = 1,575 円 → は数整理 → 1,570 円

寝台料金：6,300 円

3,150 円 + 1,570 円 + 6,300 円 = 11,020 円

11,020 円

c. 大人特急料金：3,660 円 - 510 円 = 3,150 円

小児特急料金：3,660 円 ÷ 2 = 1,830 円

寝台料金：6,300 円

3,150 円 + 1,830 円 + 6,300 円 = 11,280 円

11,280 円

d. 大人特急料金：3,660 円 - 510 円 = 3,150 円

小児特急料金：(3,660 円 - 510 円) ÷ 2 = 1,575 円 → は数整理 → 1,570 円

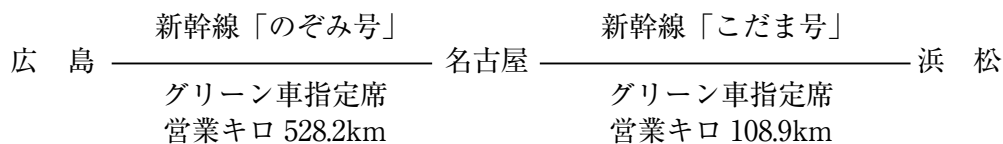
寝台料金：6,300 円 + 6,300 円 ÷ 2 = 9,450 円

3,150 円 + 1,570 円 + 9,450 円 = 14,170 円

14,170 円

問 27. 次の行程を大人 1 人がグリーン車を利用して、途中新幹線の改札口を出ないで同日中に乗り継ぐ場合、全区間の料金の算出方法として正しいものはどれか。

[行 程]



※広島～浜松間の営業キロは 637.1km

※通常期指定席特急料金

広 島～浜 松	ひかり号・こだま号	5,650 円
広 島～名古屋	のぞみ号	5,640 円
広 島～名古屋	ひかり号・こだま号	5,240 円
名古屋～浜 松	ひかり号・こだま号	2,920 円

※東海道・山陽新幹線のグリーン料金

200km まで	2,670 円
600km まで	5,150 円
800km まで	6,300 円

- a. 特急料金 5,650 円 - 510 円 = 5,140 円
 グリーン料金 6,300 円
 5,140 円 + 6,300 円 = 11,440 円 11,440 円
- b. 特急料金 5,650 円 + (5,640 円 - 5,240 円) - 510 円 = 5,540 円
 グリーン料金 6,300 円
 5,540 円 + 6,300 円 = 11,840 円 11,840 円
- c. 特急料金 5,640 円 - 510 円 + 2,920 円 - 510 円 = 7,540 円
 グリーン料金 6,300 円
 7,540 円 + 6,300 円 = 13,840 円 13,840 円
- d. 特急料金 5,640 円 - 510 円 + 2,920 円 - 510 円 = 7,540 円
 グリーン料金 5,150 円 + 2,670 円 = 7,820 円
 7,540 円 + 7,820 円 = 15,360 円 15,360 円

問 28. 次の行程を大人 1 人が通常期に、普通車指定席を利用して同日中に乗り継ぐ場合、全区間の特急料金の算出方法として正しいものはどれか。

[行 程]

特急「しなの号」 新幹線「のぞみ号」 特 急 「 ス ー パ ー は く と 号 」
 木曽福島 ———— 名古屋 ———— 新大阪 ———— (上郡) ++++++ (智頭) ———— 鳥 取
 中央本線 東海道・山陽本線 智頭急行 因美線
 営業キロ 133.1km 186.6km 126.5km 56.1km 31.9km

- ・新大阪～鳥取間の通算営業キロは、214.5km
- ・新大阪～鳥取間の JR 線通算営業キロは 158.4km

※智頭急行は、JR 西日本と通過連絡運輸の取扱いを行っている。

※新幹線「のぞみ号」通常期指定席特急料金

名古屋 ～ 新大阪	3,120 円
-----------	---------

※ JR 東海・JR 西日本の通常期指定席特急料金

営業キロ	特急料金
50km まで	1,240 円
150km まで	2,290 円
200km まで	2,610 円
300km まで	2,820 円

※智頭急行の指定席特急料金

全 線	510 円
-----	-------

- a. $2,290 \text{ 円} + 3,120 \text{ 円} + 2,820 \text{ 円} \div 2 = 6,820 \text{ 円}$ 6,820 円
- b. $2,290 \text{ 円} \div 2 = 1,145 \text{ 円} \rightarrow$ は数整理 $\rightarrow 1,140 \text{ 円}$
 $1,140 \text{ 円} + 3,120 \text{ 円} + 2,820 \text{ 円} = 7,080 \text{ 円}$ 7,080 円
- c. $2,610 \text{ 円} \div 2 = 1,305 \text{ 円} \rightarrow$ は数整理 $\rightarrow 1,300 \text{ 円}$
 $2,290 \text{ 円} + 3,120 \text{ 円} + 1,300 \text{ 円} + 510 \text{ 円} = 7,220 \text{ 円}$ 7,220 円
- d. $2,290 \text{ 円} \div 2 = 1,145 \text{ 円} \rightarrow$ は数整理 $\rightarrow 1,140 \text{ 円}$
 $1,140 \text{ 円} + 3,120 \text{ 円} + 2,290 \text{ 円} + 510 \text{ 円} + 1,240 \text{ 円} = 8,300 \text{ 円}$ 8,300 円

問 29. 次の行程を同日中に乗り継ぐ場合、下線を付したいずれの列車にも特急料金または急行料金に乘継割引が適用されるものはどれか。

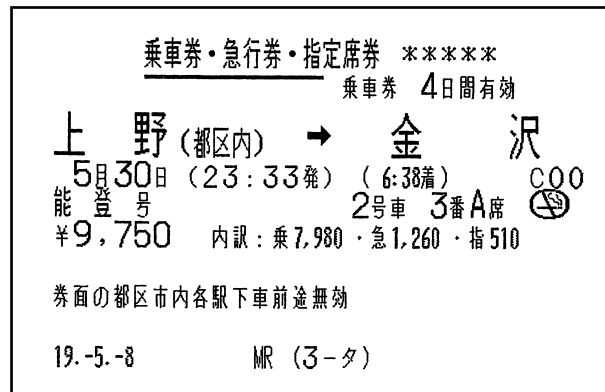
〔行 程〕

- a. 長 岡 新幹線「とき号」 新 潟 特急「いなほ号」 青 森 急行「はまなす号」 函 館
- b. 秋 田 特急「かもしか号」 青 森 特急「白鳥号」 函 館 特急「北斗号」 札 幌
- c. 福 井 特急「雷鳥号」 京 都 新幹線「のぞみ号」 博 多 特急「リレーつばめ号」 新八代 新幹線「つばめ号」 川 内
- d. 岡 山 新幹線「のぞみ号」 博 多 特急「リレーつばめ号」 新八代 新幹線「つばめ号」 鹿児島中央 特急「はやとの風号」 吉 松

問 30. 乗車券類の取扱いに関する次の記述のうち、正しいものはどれか。

- a. 東京都区内から大阪市内までの普通乗車券は、東京都区内の駅で1回に限り途中下車をすることができる。
- b. 片道の営業キロが101km以上の普通回数乗車券は、その券面に表示された区間内の駅で、1回に限り途中下車をすることができる。
- c. 大都市近郊区間内相互発着の普通乗車券は、片道の営業キロが201km以上の場合に1回に限り途中下車をすることができる。
- d. 新山口から益田（営業キロ93.9km、換算キロ103.3km）までの普通乗車券は、途中下車をすることができない。

問 31. 次の JR 券を平成 19 年 5 月 29 日に払い戻した場合の返金額のうち、正しいものはどれか。



- a. $(1,260 \text{ 円} + 510 \text{ 円}) \times 0.3 = 531 \text{ 円} \rightarrow$ は数整理 $\rightarrow 530 \text{ 円}$

$$9,750 \text{ 円} - 210 \text{ 円} - 530 \text{ 円} = 9,010 \text{ 円}$$

9,010 円

- b. $510 \text{ 円} \times 0.3 = 153 \text{ 円} \rightarrow$ は数整理 $\rightarrow 150 \text{ 円}$

$$9,750 \text{ 円} - 210 \text{ 円} - 210 \text{ 円} - 150 \text{ 円} = 9,180 \text{ 円}$$

9,180 円

- c. $9,750 \text{ 円} - 210 \text{ 円} - 320 \text{ 円} = 9,220 \text{ 円}$

9,220 円

- d. $510 \text{ 円} \times 0.3 = 153 \text{ 円} \rightarrow$ は数整理 $\rightarrow 150 \text{ 円}$

$$9,750 \text{ 円} - 210 \text{ 円} - 150 \text{ 円} = 9,390 \text{ 円}$$

9,390 円

問 32. JR 時刻表（交通新聞社発行）〔抜粋〕に関する次の記述のうち、正しいものはどれか。

- a. 寝台特急「サンライズ瀬戸号」の普通車は、自由席のノビノビ座席である。
- b. 8 月 20 日乗車の特急「いしづち 31 号」は、多度津駅に 21 時 11 分に到着する。
- c. 列車番号「553M」列車の終着駅は、茶屋町駅である。
- d. 特急「阿波踊り号」には、普通車自由席車両は連結されていない。

JR 時刻表 (交通新聞社) 2007 年 7 月号より抜粋

列車番号	3181M	27M	553M	3183M	1673M	555M	3185M	57D	557M	3187M	29M	1677M	3189M	679M	3191M	3193M	681M	3195M	3197M
列車名	快速 マリンライ 61号	快速 マリンライ 62号	快速 マリンライ 63号	快速 マリンライ 64号	快速 マリンライ 65号	快速 マリンライ 66号	快速 マリンライ 67号	快速 マリンライ 68号	快速 マリンライ 69号	快速 マリンライ 70号	快速 マリンライ 71号	快速 マリンライ 72号	快速 マリンライ 73号	快速 マリンライ 74号	快速 マリンライ 75号	快速 マリンライ 76号	快速 マリンライ 77号	快速 マリンライ 78号	快速 マリンライ 79号
入線時刻	2007 (12)	1957 (10)	2011 (11)	2036 (10)	2042 (9)	2107 (12)	2058 (10)	2120 (11)	2136 (10)	2127 (10)	2206 (12)	2213 (10)	2238 (12)	2256 (12)	2317 (11)	2322 (12)	2358 (10)	2358 (10)	2358 (10)
出発時刻	2013 (12)	2022 (11)	2030 (11)	2044 (10)	2059 (9)	2113 (12)	2122 (10)	2129 (11)	2144 (10)	2152 (10)	2212 (12)	2229 (10)	2244 (12)	2305 (12)	2325 (11)	2334 (12)	2358 (10)	2358 (10)	2358 (10)
通過時刻	2022 (12)	2030 (11)	2038 (11)	2052 (10)	2106 (9)	2120 (12)	2129 (10)	2136 (11)	2152 (10)	2206 (10)	2226 (12)	2241 (10)	2256 (12)	2317 (12)	2337 (11)	2346 (12)	2358 (10)	2358 (10)	2358 (10)
到着時刻	2028 (12)	2036 (11)	2044 (11)	2058 (10)	2112 (9)	2126 (12)	2135 (10)	2142 (11)	2158 (10)	2206 (10)	2226 (12)	2241 (10)	2256 (12)	2317 (12)	2337 (11)	2346 (12)	2358 (10)	2358 (10)	2358 (10)
停車時刻	2029 (12)	2037 (11)	2045 (11)	2059 (10)	2113 (9)	2127 (12)	2136 (10)	2143 (11)	2159 (10)	2207 (10)	2227 (12)	2242 (10)	2257 (12)	2318 (12)	2338 (11)	2347 (12)	2359 (10)	2359 (10)	2359 (10)
乗車時刻	2038 (12)	2046 (11)	2054 (11)	2108 (10)	2122 (9)	2136 (12)	2145 (10)	2152 (11)	2208 (10)	2216 (10)	2236 (12)	2251 (10)	2306 (12)	2327 (12)	2347 (11)	2356 (12)	2359 (10)	2359 (10)	2359 (10)
下車時刻	2109 (12)	2117 (11)	2125 (11)	2139 (10)	2153 (9)	2207 (12)	2216 (10)	2223 (11)	2239 (10)	2247 (10)	2267 (12)	2282 (10)	2297 (12)	2318 (12)	2338 (11)	2347 (12)	2359 (10)	2359 (10)	2359 (10)
次の掲載頁	496	496	496	496	496	496	496	496	496	496	496	496	496	496	496	496	496	496	496
列車番号	177M	903M	1031M	3184M	1279M	4561M	179M	3186M	5032M	181M	1033M	3188M	183M	3190M	417M	185D	1285M	3192M	1149M
入線時刻	2007 (4)	2024 (7)	2032 (7)	2028 (6)	2034 (9)	2044 (7)	2058 (5)	2111 (9)	2117 (4)	2125 (7)	2128 (6)	2154 (4)	2208 (5)	2222 (4)	2252 (6)	2300 (4)	2325 (6)	2350 (7)	2359 (6)
出発時刻	2022 (4)	2039 (7)	2047 (7)	2035 (6)	2049 (9)	2057 (7)	2113 (5)	2126 (9)	2132 (4)	2140 (7)	2143 (6)	2203 (4)	2217 (5)	2237 (4)	2257 (6)	2315 (4)	2340 (6)	2355 (7)	2359 (6)
通過時刻	2034 (4)	2051 (7)	2059 (7)	2047 (6)	2061 (9)	2069 (7)	2121 (5)	2134 (9)	2140 (4)	2148 (7)	2151 (6)	2207 (4)	2221 (5)	2241 (4)	2301 (6)	2319 (4)	2344 (6)	2359 (7)	2359 (6)
到着時刻	2043 (4)	2100 (7)	2108 (7)	2056 (6)	2110 (9)	2118 (7)	2133 (5)	2146 (9)	2152 (4)	2200 (7)	2203 (6)	2207 (4)	2221 (5)	2241 (4)	2301 (6)	2319 (4)	2344 (6)	2359 (7)	2359 (6)
停車時刻	2049 (4)	2106 (7)	2114 (7)	2062 (6)	2116 (9)	2124 (7)	2139 (5)	2152 (9)	2158 (4)	2206 (7)	2209 (6)	2213 (4)	2227 (5)	2247 (4)	2307 (6)	2325 (4)	2350 (6)	2359 (7)	2359 (6)
乗車時刻	2101 (4)	2118 (7)	2126 (7)	2068 (6)	2122 (9)	2130 (7)	2145 (5)	2158 (9)	2204 (4)	2212 (7)	2215 (6)	2219 (4)	2233 (5)	2253 (4)	2313 (6)	2331 (4)	2356 (6)	2359 (7)	2359 (6)
下車時刻	2110 (4)	2127 (7)	2135 (7)	2071 (6)	2125 (9)	2133 (7)	2148 (5)	2201 (9)	2207 (4)	2215 (7)	2218 (6)	2222 (4)	2236 (5)	2256 (4)	2316 (6)	2334 (4)	2359 (6)	2359 (7)	2359 (6)
次の掲載頁	2101	2101	2101	2101	2101	2101	2101	2101	2101	2101	2101	2101	2101	2101	2101	2101	2101	2101	2101